

(1)堺市内



⊕ :堺幕府推定地 ↗ 元和以前の場所を示す



【海船政所跡】1504年三好之長が計画し孫の元長が1521年に完成させた政所。阿波と堺を結ぶ拠点。
場所:堺区北旅籠町西3-4



【善長寺】1549年三好正勝が父政長(法名:宗三)の菩提所として開山。十一面観世音菩薩を安置。
場所:堺区神明町東3-1-43



【妙国寺】三好実休が日珧上人に帰依し東西3町南北5町の敷地と寺領500石を寄進。実休戦死後、上人の父油屋常言が伽藍を建立し実休を弔った。
場所:堺区材木町東4-1-4



【南宗寺】三好長慶が父元長の菩提を弔うために、1557年大林宗套に開山を依頼し、南宗庵をもとにして南宗寺を創建。元長、長慶、実休、一存の供養塔がある。境内には、三好長慶の銅像も建立されている。**元和以前の場所は宿院近く。**
場所:堺区南旅籠町東3-1-2



【願本寺】三好元長自決の地。1532年堺幕府の内紛により細川晴元側の摂津衆・一向宗軍勢に攻撃されて自刃。境内には元長の供養塔(戒名は「帰本海雲善室大居士」)がある。**元和以前の場所は宿院北200m当り。**
場所:堺区宿院町東4-1-30

(2) 北摂



【芥川山城跡】1553年から7年間三好長慶の本城。規模は500m四方で、遺構として、空堀、土塁、石垣、土橋、豎土塁が見られる。
場所: 高槻市大字原



【三好義興公の墓】霊松禅寺の境内に、「三好のカンカン石」で作られた義興公の墓。1563年に芥川山城で死去。享年22歳。
場所: 高槻市天神町



【飯盛城跡】1560年に三好長慶入城。標高314mの山城。南北700m東西400mの規模。曲輪・土橋・堀切などが残っている。各所に石垣が見られ、石垣を築城に使った安土城の先事例。長慶はこの城で没す。
場所: 四条畷市/大東市



(3) 岸和田市内



【三好実休戦没地の碑】1562年の「久米田の戦い」において根来衆鉄砲隊の攻撃により戦死。享年36歳。
場所: 岸和田市小松里町604



【三好実休本陣跡】貝吹山古墳(130mの前方後円墳)上に布陣。
場所: 岸和田市池尻町644-2